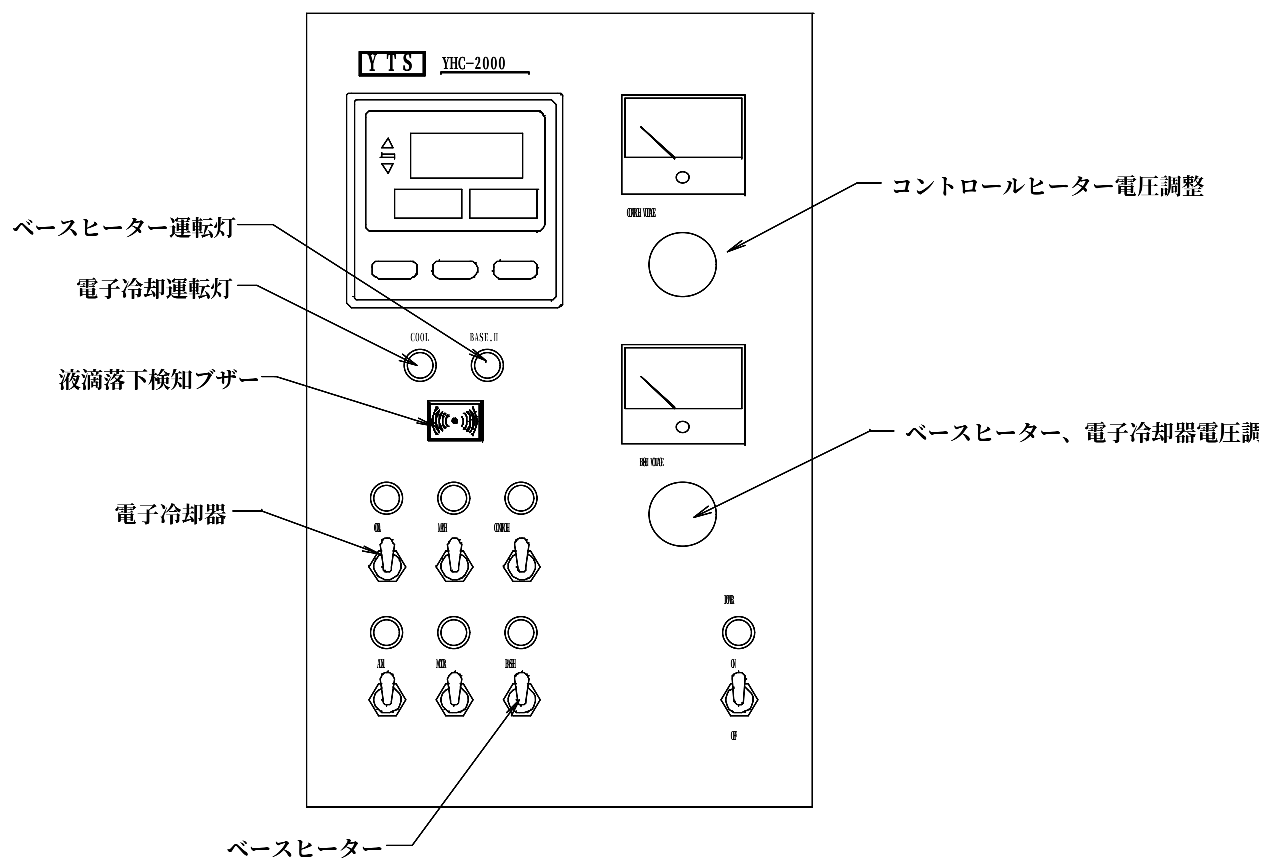
温度調節装置取扱説明書
型ＹＨＣ２０００
(Ver1.00)

平成１２年１２月２４日
山下技研有限会社

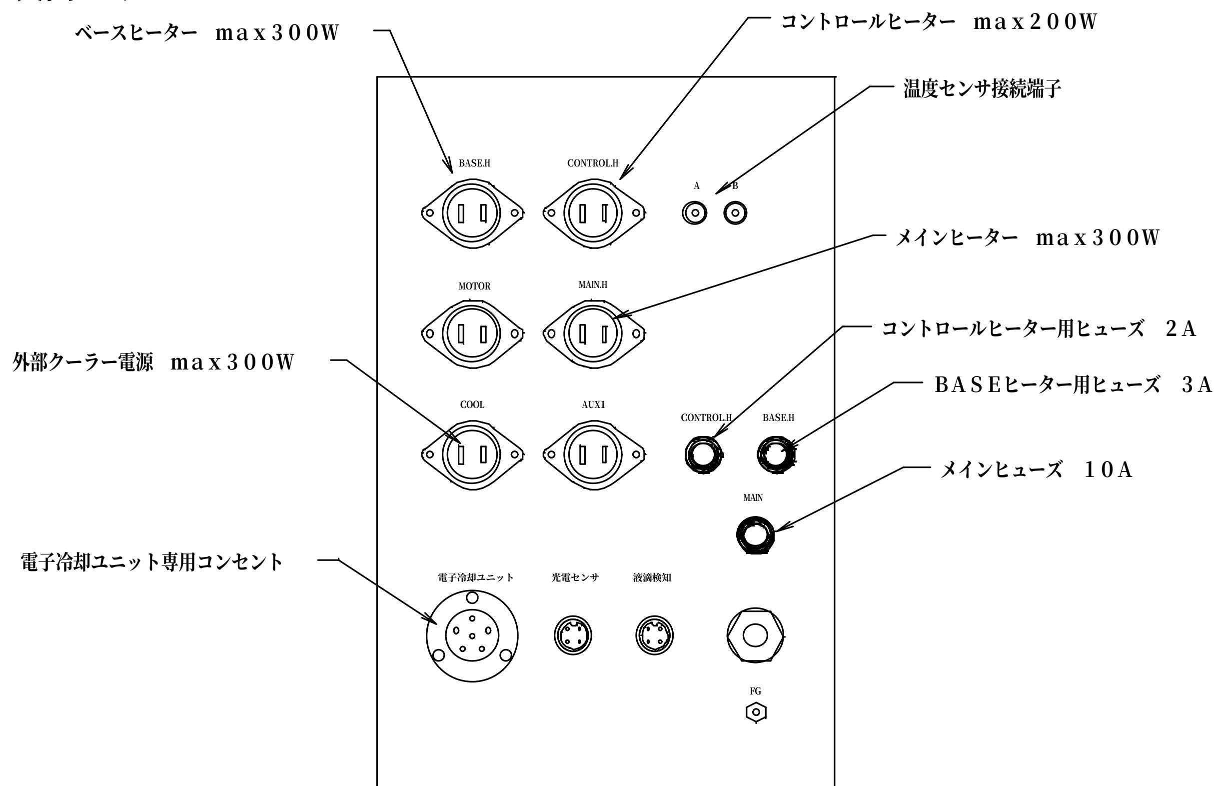
概要

　界面張力測定用恒温槽の温度調節装置として各種制御出力を保有している。
温度調節装置は精密基準温度計で校正する事により１／１００℃単位で設定できる。
温度調節用出力電圧は２個のスライダーにより最適に可変可能で安定した水温を維持できる。温度調節器の設定変更によりＯＮ－ＯＦＦ制御とＰＩＤ制御の何れかを選択可能。
電子加熱冷却器用電源出力を装備している。



正面パネル

裏面パネル



注意
指定レセプタクルに指定機器を接続する事。
電力の合計は１５Ａ以下。
ベースヒータは３Ａ以下を厳守。
コントロールヒーターは２Ａ以下を厳守。

仕様

温度調節範囲	０．００～９９．００［℃］
（室温以上）	
温度指示誤差	調節器メーカー製造仕様のとおり
温度センサ	１５KΩサーミスター型
外部出力	
ＡＣ１００Ｖ固定	MOTOR
	ＰＣ
	ＳＥＮＤ
	MAＩＮ．Ｈ
ＡＣ０～１００Ｖ可変	ＢＡＳＥ．Ｈ
	ＣＯＮＴＲＯＬ．Ｈ
出力容量	各３Ａ以下、合計１５Ａ以下
	ＣＯＮＴＲＯＬ．Ｈのみ２Ａ
ヒューズ	ＢＡＳＥ　　　　　管型３Ａ
	ＣＯＮＴＲＯＬ　　管型２Ａ
	ＬＩＮＥ　　　　　管型１５Ａ
	（全回路用）
操作スイッチ	各出力毎にＯＮ＿ＯＦＦ出来る。
ＢＡＳＥヒーター	裏面パネル切り替えスイッチにて選択時のみ有効。
電子加熱冷却器	裏面パネル切り替えスイッチにて選択時のみ有効。
出力表示灯	操作スイッチＯＮにて点灯

ＢＡＳＥヒータ表示灯は裏面パネル切り替えスイッチにて選択時のみ有効。

制御出力内容

１）ＭＡＩＮ．Ｈ

用途　　恒温水槽の予備昇温。
急速昇温用ヒーターを接続して恒温水槽温度を温度調節器の上限警報（Ａ１）で設定した温度まで昇温する。

動作　　温度調節器の上限警報（Ａ１）ＯＮにて出力禁止を保持。
ＭＡＩＮ．Ｈ操作スイッチをＯＦＦにする事により保持解除する。

２）ＣＯＮＴＲＯＬ．Ｈ

用途　　恒温水槽の精密定温維持用。
定温維持用ヒーターを接続する。恒温水槽温度を温度調節器の操作出力で制御している。

動作　　温度調節器の操作出力と連動する。
出力電圧はスライダーで定めた電圧。（０～１００Ｖ）

３）ＢＡＳＥ．Ｈ

用途　　恒温水槽のベース温度維持用。
恒温水槽の温度を設定温度より僅かに低く設定す。
裏面パネルの切り替えスイッチをＢＡＳＥ側に設定している時に有効。

動作　出力電圧はスライダーで定めた電圧。（０～１００Ｖ）

連続出力。

４）ＰＣ，ＳＥＮＳ，ＭＯＴＯＲ

用途　　恒温水槽の付属機器用電源。

動作　　出力電圧はＡＣ１００Ｖ固定。
連続出力。

使用方法

１．全操作スイッチをＯＦＦにする。

２．使用する機器を目的に合せたパネル裏面出力コンセントに接続する。

（接続例）

ＣＯＮＴＲＯＬ．Ｈ　　　１００Wヒーター（定温維持ヒーター）

ＢＡＳＥ．Ｈ　　　３００W投げ込みヒータ（ベース温度維持ヒーター）

ＭＯＴＯＲ　　　恒温槽攪袢機

ＭＡＩＮ．Ｈ　　　３００W投げ込みシーズヒーター（急速昇温ヒーター）

３．温度調節器上限警報温度（Ａ１）を設定する。
使用する出力の操作スイッチをＯＮにする。

４．恒温水槽温度が温度調節器上限警報温度になりＭＡＩＮ．Ｈの出力表示灯が消灯したらＭＡＩＮ．Ｈ操作スイッチをＯＦＦにする。

５．恒温水槽温度の変化が最も少なくなるようにスライダーを調節する。

連絡先

==

〒771-0130 徳島市川内町加賀須野 511 番地 4

山下技研有限会社

代表取締役　山下佑治

TEL(088)665-7907,FAX(088)665-7909

E-mail : yts@mwb.biglobe.ne.jp

URL　http://www.tcn.ne.jp/~yamashita/

==